

〔資料〕

第4回中学校再編委員会（R4.6.22）における「熟議」協議内容まとめ

【コミュニティ・スクール説明後】質疑まとめ

- ・コミュニティ・スクールの導入は、統合中学校から始めるのか。小学校も同時、もしくは徐々に導入を進めるのか。
- ・このタイミングで導入する理由は、なにがあるのか。
- ・事務局は教育委員会が担うとのことだが、小学校も導入することになると、回っていかないのではないか。

→ 《教育委員会より(案)》統合中学校への導入を考えている。中学校は、生徒が地区と離れた学校に通うことになるので、学校と各地区の連携についてこれまで以上にしっかり考えていく必要がある。

小学校は現在、5地区に残す計画なので、当面は従来のしくみの中で学校と地域の連携を図っていただくことをイメージしている。

- ・そもそもコミュニティ・スクールとは、なんなのかが、よくわからない。学校運営協議会と地域学校協働本部を合わせた組織なのか。
- ・カタカナ言葉だと、なにをやるものなのか、イメージがわからない。
- ・従来のPTA活動との区分けはどうなるのか。例えば「除草作業」はPTAの案でも活動を予定するようなことだったが。
- ・イメージは分かるが、具体的にどのような活動をし、何を協議するのか分からない。
- ・先進地区の事例を知りたい。

→ (案) これまでには、地域による学校への「支援」が一般的であった(学校の依頼を受けて地域住民に力を貸していただく。一方向の支援)。

コミュニティ・スクール導入により、地域と学校が「連携・協働」する体制を目指す(目的やビジョン・将来構想を共有し、協力して子どもを見守り、育てていく)。

- ・学校運営協議会は年間何回開催するのか。

→ (案) 文部科学省作成の「『学校運営協議会』設置の手引き」(令和2年10月)では、「例」として、年間9回の計画が示されている。実際には会の内容を精選、工夫すると、6回～7回の開催が考えられる。

- ・この活動に対しての最終の責任者は誰になるのか。
- ・学校運営協議会の任期は。
- ・決められている協議会委員の選出の他、今資料に書いてある人以外で希望があった場合の取扱いはどうするのか。
- ・この活動は、ボランティアになるのか。

→（案）町教育委員会により「南知多町学校運営協議会規則」を定める。規則案には次の内容を盛り込む予定。

- ・運営協議会は、町教育委員会及び校長の権限と責任の下、活動する。会には、委員の互選により会長、副会長を置く。会長は会を総理し、協議会を代表する。
- ・委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- ・教育委員会が委員を任命するときは、校長に意見を聞く。
- ・委員の報酬は別途定める。（※詳細は未定）

A グループ【熟議】内容まとめ

- ・「自慢のふるさとに」とあるが、例えば日間賀島だと「観光」「漁業」という具体的ないいところがある。他地域だとそれがどこまではつきりしているのか少しわかりにくい面もある。元気のある分野で活躍している、「あこがれられる人」が子どもたちと関わるようになるといい。
- ・南知多町は、交通手段がない。子どもたちの遊ぶ場所がない。というのが現状。だとすると、子どもたちは出ていくのが「確実」である。他の地域（たしか碧南？）で、スケートボードを楽しめる場所があるそうだ。子どもたちが集まれる場所があるといいのだが、南知多では子どもたちが外にいない。
- ・結局、南知多はもともと別々の町村だったところ。現状がそれぞれ違う。共通して自慢できるものを創っていくのはこれからではないか。町に一つ、各地区の子どもが集まれるところがある、という姿もその一つかもしれない。
- ・だからこそ、小学生のうちに、各地区のいい所を知っているようになってほしい。中学生になってお互いに伝え合える、というのが理想。そうする中で「(町全体に関わる提案・実践の取組など) もう少し大きいことがしたい」となっていくといい。
- ・かつて南知多町で「まちづくり ゆめフェスタ」というイベントをやったが、参加者は「おじさん」ばかりだった。もっと若い人や子どもたちが参加できるイベントがあるといい。
- ・そういう意味では、日間賀島の取組はすごいと思う。日間賀中は東京で日間賀島のPR

をしている。今年はセントレアで中学生が PR をするようだ。それを広げて、中学生が南知多のアピールをするというのもいい。

- ・だが現実は、豊浜でテングサをとって寒天づくりを子どもとやろうとしても「内海の人はとっちやダメ！」と言われてしまう（笑）。そういうこと（地区を越えて連携、協力できる活動など）こそ、学校でやれるように地域が協力できるといい。
- ・とにかく、「地域コーディネーター」はものすごく大事だろう。

B グループ【熟議】内容まとめ

- ・コミュニティ・スクールという言葉を聞いて、最初に不登校の子どもを地域で見守るイメージでいた。統合しても、地域単位の子どもたちのつながりを大事にしてほしい。4地区の交流も大事だが、自分の住んでいる地域を学んでほしい。
- ・中学校が統合されて、地域に中学生がいなくなってしまうので、地域を大事にしてほしい。日間賀では、地域と小中学校が連携して、地域の将来を考える会をおこなっている。コミュニティ・スクールといつても、一般的に何を実施するのか理解しづらい。各地域でおこなっている、地域サミットの全町版として、「南知多サミット」と名付けて実施していくと、みなさんの理解がしやすい。
今まで地域といえば、それぞれ日間賀や豊浜などであったが、「南知多サミット」として、南知多を考えることによって、地域イコール南知多となっていけるといいです。
- ・説明を聞いて思ったことは、地域コーディネーターを誰が担うのかが難しい。適任者がいるのか？人選が難しいと思う。実現できるなら、学校も助かると思う。

C グループ【熟議】内容まとめ

- ・このような制度になると、学校の先生の負担が増えるのではないか。
- ・文部科学省の提案した内容であると窮屈というか大変だと思う。実際に進めていくのであれば、南知多町版をよく考えていかなければならない。
- ・この制度は、学校が担ってきた業務や困っていることを協議会の方にお願いし、協力していただくことでもあるので、むしろ負担が軽減される方向になるのではないか。
- ・逆に協議会は、学校に「もっとこういうふうにしてほしい。」と要望も言える立場であるため、イーブンな関係を築くことが大切ではないか。そのためにはコーディネーターの役割が重要となる。
- ・そのためには、資料の8ページにあるように協議会は何をするのかを明確にし、規則を作って、任期や報酬を決めてきちんと整備することが大切。
- ・統合中では、いろいろな地区の人々が集まるので、ボランティア団体などまとめる協議

会ができればいいと思う。

- ・統合間もないため、コミュニティ・スクールでできることをきちんと決めて実施する。
- ・あれもこれもは絶対にうまくいかないので、学期ごとにやれることをやってみたらどうか。

Dグループ【熟議】内容まとめ

- ・先進地区の事例としては、登下校の見守りや学習支援があるのではないか。
- ・コミュニティ・スクールは、これまで学校や地域がやってきたことのまとめのようなイメージだ。
- ・日間賀島まちづくり協議会の取組が、コミュニティ・スクールに近いのではないか。
- ・南知多中になると校区が広域になるため、それがコミュニティ・スクール推進の弊害にならないか心配である。
- ・導入するならば、学校も地域もwin-winの関係になるように取り組むべきだろう。
- ・「コミュニティ・スクール」「地域学校協働本部」など、聞きなれない言葉が並ぶことで新しい大変な取組に聞こえるが、これまでやってきたことを継続し、そこに委員が入っていくイメージでいいのではないか。
- ・まずは、これまで学校と地域が協力してやってきたことを継続し、令和10年の新校舎へ移転するころまでに、南知多独自のコミュニティ・スクールができあがればいいのではないか。

記録

第4回 南知多町中学校再編 生徒準備委員会

令和4年7月3日 内海中 被服室にて

1 開会

10:00

(1) 教育委員会あいさつ（教育長）

・貴重な時間を使って集まつてもらい、ありがとうございます。

・先日の交流活動では、最後の委員長さんのあいさつどおり、きっとみんなの不安が少し解消されたのではないでしょうか。

(2) 日程確認

2 中学校再編委員会（6/22 開催）・第1回交流活動（6/30 開催）について意見交換

・校章デザインについて

・校則について

・交流活動の今後の予定について

等

○校則について（前回の意見集約、再編委員会での協議を踏まえて）

【腕時計やスマートフォンを「持ってきてよい」ことにしては？という考え方について】

・（持ってきてよいとなった場合）学校にいるときにスマホはどうするか？担任による預かり？

・スマホも、腕時計も必要ないと思う。

・スマホは高価であり、トラブルが心配だ。

・スマホにはたくさんの機能がある → 登下校中も含め、使い方が心配だ（悪用、ゲームして事故、電子マネーなど）。

・腕時計は各家庭でも買いやすいからいいのではないか。

・スマホについては反対。持っている子もいれば、持っていない子もいるから。

【体操服を肌着として着用すると、衛生面から好ましくない、という点について】

・（一律に「禁止」とするのではなく、汗をかく前（登校時）ならよいのではないか？

【頭髪】

・細かいところまで書かれていながら、きちんとダメならダメと書いてほしい。

・ツーブロック等がダメなのはなぜなのか。伝えてほしい。

○制服について（今後の検討に向けて。そもそも制服は必要か、という点について意見交換）

【「必要だと思う」という意見】

・「集団力」「团结力」「一体感」が高まると思う。

・私服の方がサイズが合わなくなりやすい。

・私服になると、またそこに様々なルールが必要となり、面倒だ。

・セカンドユニフォーム（オリジナルTシャツなど）があるとよい。

・式などの大事な場では、やはり制服で統一したほうがよい。

・私服だと「センス」が問われ、差別化が生まれてしまう。

【「必要でない」という意見は特に挙がらなかった】

3 協議

魅力的な中学校とは～各校の残したい伝統について～

○事前に各校で1, 2年生徒(保護者への聞き取り含む)に調査した「今の学校の魅力」を共有した。挙げられた意見(主なもの)は次の通り

- ・人数が少なかったからこそ、ずっと一緒にいたからこそ、男女の仲がいい。
- ・小さいころから一緒にいてお互いのことが分かっているから団結力があるのかなと思った。
- ・「元気」「男女の仲が良い」と答えている人が多い。
- ・先生がいい人だからみんなに好かれ、活発になったのかなと思った。
- ・挨拶はいろいろなことの基本になるので、統合後も力を入れていければいいなと思った。
- ・「元気」や「明るい」などの、性格に関する魅力の意見が多いと思った。

○Google ジャムボードを活用して意見交換予定だったが、ICT 機器の不具合等あり、十分に意見交換はされなかった。

○今後、オンライン含め、意見交換や分析を進めていくことを確認した。

4 閉会

(1) 今後の確認

- ・第2回交流活動（7月28日（木）PM）……夏季休業中の部活動について、自宅への下校シミュレーションについて
- ・第5回生徒準備委員会（8月下旬）
- ・第3回交流活動（9月9日（金））……別紙

(2) 質疑等

(3) 振り返り

11：30終了

資料

「熟議」に関する考え方の整理

第5回 南知多町中学校再編委員会(R4.8.25)

① スマートフォンについて

ア 原案と異なり「スマートフォンを持ってきててもよい」とする場合

- 特に日間賀島地区の生徒にとって、下校時の乗船便連絡等、保護者との連絡をとることが容易になる。
- 他地区生徒にとっても、万ースクールバスに乗れない事情が発生した場合、海っ子バス等別の手段で帰宅する、あるいは保護者の迎えを待つ、などの連絡が容易になる。(→ただし、この点は現状各校では職員室からの電話で保護者と連絡をとるのが一般的)
- (生徒準備委員会でも話題になったように) 高価であり、紛失、落下等による故障などのトラブルが心配である。
- (　　〃　　) 登下校中を含め、使い方が心配。学校生活における過度な使用(SNSやりとり、オンラインゲーム等)、不要な画像・動画の撮影と SNS 等による発信・拡散、登下校中の電子マネー利用など、による各種トラブルが懸念される。
- 以上のようなトラブルが発生した際に、対応するのは教員となることが考えられる。トラブル対応(もしくは未然防止)のために、ただでさえ多忙な教員が、より時間を多くかけることが懸念される。

イ 原案通り(従来通り)「スマートフォンは持ってこない」こととする場合

- アで挙げたような懸念(●)が無用となる。
- 下校に際して、イレギュラーな帰宅時間(方法)になったときの生徒のスムーズな帰宅方法や、保護者への連絡手段を整える必要がある。

② 頭髪に関する規定について

ア 原案と異なり「細かな規定」を校則に定める場合

- 生徒にとって規則に沿った整髪が可能となる。また、同様に教員にとっても規則に沿った指導が可能となる。
- 規定をどこまで細かく定めても「では、この場合はどうするのか」という疑念は必ず生じる。

イ 原案通り最小限の規定として示す場合

- 規則によるのではなく「清潔を保ち、中学生らしい頭髪」を生徒、教員が考えるきっかけとなる。
- 解釈が多様となり、それぞれの考え方により不要なあづれきを生むことにつながる。